

Title	外国企業による韓国企業への投資とその後の経営
Sub Title	
Author	呉世東(O, Seton) 鈴木貞彦
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1998
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1998年度経営学 第1412号 可能
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001998-1412

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

所属ゼミ	鈴木 研究会	学籍番号	89728135	氏名	呉 世東
(論文題名)					
<p>外国企業による韓国企業への投資とその後の経営</p>					
(内容の要旨)					
<p>1997 年末の金融危機以来、韓国の経済が立ち直るためには外国からの資金流入が必須不可欠なものになっている。その状況に従って、韓国政府も外国人投資家を誘致するため、各種の規制を緩和したり、新しい投資誘因政策を施したりしている。しかし、外国人投資資金の流入は韓国政府の期待どおり順調に増加していないし、既に行われた投資も韓国側と外国人投資家の両方が満足できるほどの成功を取めているとはいえないのが現実である。</p> <p>ここで、本論文は文献研究と事例研究を通じて、既に韓国に進出している外国人投資企業の経営成果に影響を与える諸要因を解明し、それから今後のその経営の成功要因を提示することを目的とする。</p> <p>韓国における外国人投資企業の経営成果に影響を与える要因は大きく外形的要因とマネジメント要因に分けて調べることができるだろう。</p> <p>まず、外形的な要因というのは、外国人投資家の本国、韓国政府の政策、外国人投資企業の持分状況、業種と市場の規模、競合関係、そして従業員の特徴などを挙げられる。次に、マネジメント要因というのは、経営者の経営戦略、人事政策、労働組合との関係、マーケティング戦略、原資材と製品の輸出入政策、そして資金力などを挙げられる。</p> <p>そして、外国人投資企業の経営成果に影響を与えると思われるこのような諸要因を文献研究を通じて調べてみて、その中からもっとも影響が大きい変数を発掘するようにした。このように、文献研究と事例研究を通じて得られた韓国における外国人投資企業の成功要因とは、1)韓国政府の政策や要望による独占的な地位を確保するか、2)投資元である親企業の経営方針と韓国市場の特徴に対する深い理解をもつ優秀な経営者を起用するか、3)親企業からのマーケティングや資金など幅広い支援を得て、それをうまく活用できるかということである。以上のような成功要因を備えて、韓国市場に対する現地化と世界市場に対する国際化を共に図ることによって、投資元の外国企業と韓国の消費者と従業員の両方を満足させる WIN-WIN 戦略が実現できるだろう。</p>					